

生徒の活躍 広東省との高校生交流 高校生の税についての作文 能の舞台に立つ

こんな活躍をした生徒がいます。
ご紹介します。

◇ 平成30年度中国・広東省との高校生交流事業

2年 的場莉穂さん

兵庫県から10名の生徒が選ばれ、10月24日～11月9日、中国広東省との交流事業に参加しました。その感想を聞きました。多くの感動と発見があったようです。

- 全行程、英語での交流でした。英語力がもっとも必要だと痛感しました。
- 数学の授業では、解答するだけでなく、必ず自分の意見を求められ、発言する授業形式で、答え合わせが中心の日本と、授業のやり方が違うなと思いました。
- 自分が伝えたいことが、伝わった時にとてもうれしかった。
- 教室の黒板が両側にスライドし、中にモニターが入っていて驚きました。
- 今回本当に心のこもったおもてなしを受け、感謝しています。参加した授業でいっぱい配慮してもらいました。本校で、もし受け入れができれば、ただ一緒に日本の授業に出るだけでなく、担当の先生と相談して、どんな授業にすればいいか考えてみたいです。

◇ 「くらしを支える税」をテーマにした作文 入賞

税金の役割や納税の意義について理解を深めることを目的に、毎年国税庁では、税金をテーマにした作文を高校生から募っています。

今年、兵庫県内から応募のあった109校、1万6430編の作品の中から、本校1年生上原 梢さんの作品が県内6人に選ばれ、神戸新聞社で開催された座談会に参加し、「限られた財源 有効活用すべき」と意見を述べました。その様子は、11月11日の神戸新聞に大きく取り上げられました。

この「高校生の税に関する作文」では、上原さんとともに、本校生徒が次の賞を受賞しました。

	氏名	題名	受賞名
1年	上原 梢	忘れ得ぬ声	兵庫県租税教育推進連絡協議会賞
1年	吉田 和花	ふるさと納税	西宮税務署長賞
1年	曾谷 葵	ふるさと納税って？	西宮市長賞

◇ 能 の舞台に立ちます

2年 森 公暉さん

日本の伝統芸能を中心に、様々な分野の芸能活動ができる拠点として『平林会館・西宮能楽堂』が鳴尾駅の南側徒歩5分のところにあります。

森君は、能に興味を持ち、小学生の頃少し習ったことのある能を高校生になりもう一度始めました。謡にあわせて舞い、動きの強弱をつけるのがむずかしいけれど、新しいことをどんどん覚えていくことが楽しく、これからも続けていきたいと抱負を述べてくれました。

11月25日(日)11時より16時過ぎまで、鳴尾 西宮能楽堂で能楽を習っている方の発表会があり、森君は仕舞を披露します。